

今年度より、市内すべての中学校区で、9年間の学びをつなぎ、育ちを支える小中一貫教育がスタートしています。各中学校区では、これまで積み重ねてきた小中連携の取り組みや、地域に支えられてきた学校づくりを基盤に、中学校区単位の特色ある取り組みを進めています。児童・生徒のつながり、教職員のつながり、地域の人々とのつながりなど、各中学校区のさまざまな取り組みを紹介します。

まずは、第一弾として、平成27年度より新しく開校する樟風中学校区の土台となる、第二中学校区・第四中学校区の取り組みについて紹介します。樟風中学校区は、現在の第二中学校区・第四中学校区が合わさった校区です。それぞれの中学校区で大切にしてきた人々のつながりや取り組みが合わさり、樟風中学校区の子どもたちを支える新たな教育コミュニティづくりがすすんでいきます。

守口市立第四中学校区

<第四中学校区の幼稚園、小・中学校>

とうこう幼稚園：西森 峯子 園長(4学級 … 84人) 橋波小学校：坂田 俊夫 校長(17学級 … 409人)
三郷小学校：福岡 知子 校長(7学級 … 162人) 第四中学校：吉本 卓 校長(12学級 … 312人)

<第四中学校区 「あなたの活動で、四中校区の子どもが笑顔に！
のスローガン」 地域の子どもは地域で育てましょう！>

教職員がつながる ～学びをつなぐ取り組み～

小中合同授業研究会

平成26年6月25日 三郷小学校



三郷小6年算数「図形の拡大と縮小」の研究授業では、魅力ある課題設定に、子どもたちは熱心に取り組んでいました。

それぞれのグループで出た考えや意見を模造紙にまとめ、発表し合い、さらに考えが深まりました。



研究授業を通して「子ども主体の授業」のあり方を考え、3校で共通に取り組める内容(例:ICTの効果的な活用、板書、ノート、言語活動など)について発達の段階を考え、「学びをつなぐ授業づくり」を研究していきます。

討議会では、討議の3つの柱(学習課題の設定・言語活動の充実・ノート指導)について、活発な意見交流が行われました。



家庭・地域とつながる ～支える取り組み～

第四中学校校区連携推進協議会 事前準備会



校区連携推進協議会が実り多いものになるように、事前の打ち合わせ会(準備会)を開きました。

参加者全員が意見交換できるように、昨年度に引き続いてワークショップ型の討議会にすることなど、熱心に検討・準備を行いました。

平成26年6月9日 四中 校長室

これから樟風中学校区となる
第二中学校区・第四中学校区の取り組み



市教育委員会
マスコットキャラクター
「もりもり」

次代を担う

輝くもりぐちっ子を育てます



小中一貫教育が
スタートしています!



第四中学校校区連携推進協議会 当日

「あなたの活動で、四中校区の子どもが笑顔に!」「地域の子どもは地域で育てましょう!」をテーマに、3班に分かれて意見交換を行い、活動内容と課題、そして今の活動をさらによりよいものにするための方策を出し合いました。

平成26年6月23日 四中 視聴覚室



各グループで出た考えをまとめ、全体の場でグループごとに発表しました。



守口警察署、守口市教育委員会からも助言をいただきました。

四中校区教育フォーラム

大阪教育大学監事・野口克海先生より「愛されている子どもは、人を愛することができる」の演題で、温かで示唆に富んだ講演を聴かせていただきました。また、吹奏楽部によるすてきな演奏がありました。

平成26年1月18日 橋波小 体育館



幼・小・中とつながる ～子どもたちがつながる取り組み～

とうこう幼稚園と
三郷小学校の交流

三郷小のわくわく祭りに参加。箱の中には何が入っているかな、ドキドキわくわく。お兄ちゃん、お姉ちゃんが優しく声をかけていました。

平成25年11月22日 三郷小



四中オープンスクール

三郷・橋波小6年生が四中に行き、授業や部活動を体験します。春から始まる中学校生活が楽しみです。

平成26年1月23日 四中



四中出前授業

四中生徒会執行部が三郷・橋波小に出向き、6年生に中学校の生活についての説明をしました。はじめは緊張気味だった6年生も、後半は笑顔で話を聞くことができました。

平成25年12月12日 橋波小
12月17日 三郷小



四中職業体験

とうこう幼稚園と三郷・橋波小で、四中生が職業体験をしました。

平成26年2月5・6日

守口市立第二中学校区



＜第二中学校区の
小・中学校＞ 寺方小学校:大林 芳子 校長(15学級(内 支援学級3)…)児童293人
南小学校:小倉 和良 校長(10学級(内 支援学級2)…)児童192人
第二中学校:大原 正義 校長(12学級(内 支援学級3)…)生徒340人

＜第二中学校区は＞

「ちがいを豊かさ」ととらえ、ねばり強くがんばる児童生徒を育成します。

小中で子どもの学びをつなぎます！～発表用ホワイトボードで言語活動～

小中合同授業研究会

今年度は、『「聴く、書く、話す」言語活動を基盤とした確かな学力』を身に付けることをテーマとした、国語・理科の研究授業を実施しています。3校の全教職員が集まり授業参観、その後研究討議を行います(第二中・寺方小にてそれぞれ9月実施予定)。

また、二中校区児童・生徒の言語活動の充実を図るために、「発表用ホワイトボード」を各校に多数配備し、活用を推進しています。各校ともクラスにおいて、下記のような話し合い活動が積極的に行われ、活用の効果が表れてきています。

寺方小学校

算数の授業で、ホワイトボードに考えを表し、みんなの前で発表する活動を続けています。

4年生の授業では、自分で作った問題を発表し、各自の考え方を交流しているところです。



南小学校

算数の授業で、各班で考え方を書き込んだホワイトボードを黒板に貼り出し指導者が説明しながら、考え方を全体で共有しています。



第二中学校

中学3年生の理科の授業でホワイトボードを活用しているところです。

各班がホワイトボードで発表した後、「実験結果からわかること」を比較検討しています。



小中合同研修会

毎年、夏季に3校の全教職員が集まって、第二中学校区の課題を共有化し、克服する手立てについて共に考える研修会を実施しています。

今年度は、来年の統合を見据えて、二中・四中の連携、4年後の統合を見据えた寺方小と南小の連携についてそれぞれ話し合いました。



小中連携授業

小中連携事業の一環で、小学校の先生が中学校で授業を行う「いきいきスクール」を実施しています。

南小の先生が第二中学校を訪問し、音楽の箏(こ)の授業を行いました。



二中校区支援学級交流会

3校の支援学級が合同で交流会を行っています。自己紹介した後、中学校の先輩が読み聞かせをしてくれたりゲーム大会を行ったり毎回楽しく交流しています。



児童会・生徒会合同活動



二中学生会と寺方小、南小の児童会が、ユニセフ募金やあいさつ運動などを、合同で行っています。それぞれの児童会と生徒会が、一緒になって小・中学校双方で募金活動やあいさつ運動を行います。また、今年度は3校の生徒会・児童会が集まって交流会議を実施しました。

中学校文化発表会・クラブ体験

10月に第二中学校で開催される文化発表会に、両小学校の6年生が見学に行きます。舞台の発表や展示物を見て、「来年は自分たちも!」と決意してくれています。また、12月のクラブ体験では中学生の先輩と楽しく交流しました。



学校支援ボランティア活動

児童の登下校を守る「見守り隊」や「声かけ隊」、図書室の整理などを手伝ってくださる「図書ボランティア」、芝生や花壇を整備して下さっている「園芸ボランティア」、他にも、あいさつ運動や水泳指導など、多くの地域の方々にお世話になっています。



9年間の成長を支えて頂いています!

第二中学校区 親善スポーツ大会

地域、保護者、教職員が集まって、親睦を深めるために、毎年2学期に開催しています。昨年度は、秋にソフトバレーボール大会を実施し、大いに盛り上がりました。

<第二中学校区地域協議会>

市内の各中学校区が「学校支援地域本部」を立ち上げる以前から、第二中学校区では「第二中学校区地域協議会」が組織されていたため、そのころからの名称を現在も使っています。寺方地区・南地区の公民館運営委員会や地域コーディネーター、保護司会、そして第二中学校区PTAと教職員が一緒になって、児童・生徒の9年間の育ちを見守る活動を続けています。その中での、大きな2つの行事を紹介します。

①子育てほっとルーム・子育てひろば



寺方幼稚園のプレイルームをお借りして、月1回、就学前のお子さんとその保護者を対象に「子育てほっとルーム」を開催しています。また、7月初旬には、「子育てひろば」を南部公民館で開催し、子どもを遊ばせながら、保護者同士が情報交換できる場を提供し、就学前の子どもたちの成長も見守っています。

②デイキャンプ

11月中旬に鶴見緑地キャンプ場で実施しています。小学生と中学生が一緒になって、カレーライスをつくったり、ゲームをして楽しむ中で、自主性や積極性、リーダー性の育成をめざしています。



これらの行事以外にも、「夏休み・冬休み対策会議」、「地域協議会講演会」、1月初旬に行う南地区伝統行事「とんど」など、地域と保護者、学校が一体となって児童生徒の成長と学びを支えています。